

ひと・自然 元気がやぐ さつま町



広報

さつま 2013 7

No.100



奥薩摩ホタル舟

2013.5.21

ホタルの光

戻ってきた

二渡ホタル舟

2013.5.25

日高町政

2期目の所信



さつま町長
日高政勝

2期目の4年間は、これまでの4年間の単なる延長線上で仕事をしていくということではなく、今まで取り組んできたことを含め、心機一転「非連続の改革」の言葉どおり、これまでの流れも素直な目で見直す気持ちで取り組んでまいります。

町長が放つ 4本の矢

①元氣の出る 農林・商工業の町

②子どもやお年寄りが 安心して暮らせる町

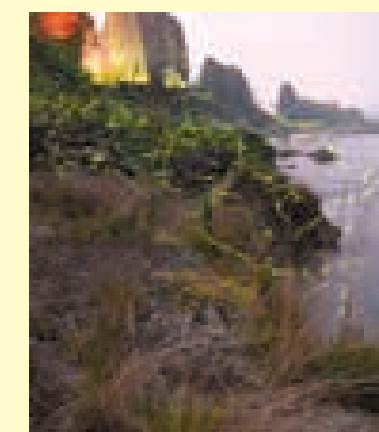
③ふれあいのある 生き生きとした住みたい町

④財政健全化による 安定した行政サービスの町

平成25年6月定例議会で日高町長は、「町政運営に対する所信」を述べました。
今回はその概要を一部お知らせいたします。
なお、全文は本町ホームページにて紹介しています。

- 2 町長所信
- 6 インターネット選挙運動解禁
- 7 風しんの任意予防接種費用を助成します
- 8 まちのニュース
- 16 まちの歴史探訪
- 17 保険証の更新方法が変わります
- 18 暮らしの情報
- 22 がんばれスポーツ少年団
- 23 誕生・おくやみ
1歳で～す
- 24 人・夢
休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明



奥薩摩のホタル舟と二渡のホタル舟。
昨年より多くのホタルが見られ、訪れた人は、幻想的な光を楽しみました。
(関連記事 P14)

町政運営3つの姿勢

- 1 「誠実で公正かつ透明性の高い町政」
- 2 「住民視点、現地現場主義による
対話と協働の町政」
- 3 「効率とスピード重視の町政」

戦略目標 1本目

元氣の出る農林・商工業の町



農林業振興

縦割り行政の枠を超えた横断的な連絡会議の設置や一定の振興方策の検討、推進など総合調整を行う専任プロデューサーを設置して、基幹産業としての農林業振興を推進します。

「薩摩のさつま」

JA北さつまと連携して米、梅、たけのこなど「薩摩のさつま」のブランド確立を図り、関東、関西地域等の消費圏域でのトップセールスを積極的に行いながら販売促進に努めます。

担い手の確保

認定農業者、新規就農者の確保及び集落営農の育成を図るため包括的な支援を行います。

耕作放棄地の解消

農地の適正な管理と農地の有効利用を促進し耕作放棄地の解消と発生防止を推進するため、町の単独事業として農用地利用集積事業を実施します。

農林業いきいきプラン

さつま町の誇れる特産品づくりのため、生産性向上と定着化（種苗等助成）にかかる支援を行います。

さつま牛

優良雌牛の保留・導入促進や肥育素牛導入促進、畜産基盤再編総合整備事業による多頭飼育農家への飼料生産基盤や畜舎等の整備を促進します。簡易牛舎に対する補助金増額や、粗飼料等自給飼料確保の支援を行います。

さつま

かごしまの特産品として、竹林整備支援事業によるたけのこ生産竹林や作業道の整備を促進し、一大産地づくりに努めます。

六次産業化

「薩摩西郷梅」を始めとする、町内で生産される優れた農産物による地域特産品の六次産業化を強力に推進し、農家所得の向上に努めます。

林業の再生

「森林・林業再生プラン」に基づき、北薩地域の県・各市町・林業事業体等で構成される推進会議等の中で連携して山林の活性化を推進します。

有害鳥獣対策

猟友会・駆除隊の協力を得ながら、併せて農家の自発的捕獲を促進し、農林産物等の被害防止のため、

商工振興

め、防止と捕獲の両面から総合的かつ効果的に推進します。
町内商業の活性化と消費拡大を図るため、プレミアム付商品券年2回発行を支援します。また、小売業等店舗整備支援事業、旅館業等施設整備事業、商店街景観等保持を図る街灯等の整備を引き続き実施します。

企業誘致と雇用促進

町内立地企業や本社への訪問をはじめ、食品産業等への新規企業に対して情報提供・収集等を行い、連携を密にして誘致や雇用促進に努めます。



さつまたけのこ

戦略目標 2本目

子どもやお年寄りが 安心して暮らせる町

子育て 支援対策

子育て世代が安心して働ける環境づくりとして、保育料の負担軽減を実施します。また、現在小学校就学前までの医療費無料化を、来年1月を目途に小学校終了時まで拡大する準備を進めます。中学生までの入院医療費無料化は継続します。

予防接種

今年度新たに県内初の事例となるロタウイルスとB型肝炎ウイルスワクチンの任意予防接種助成を始めます。

こころの 支援事業

こころの支援事業と、妊婦の歯科無料健診を引き続き実施します。

療育支援

関係機関と連携を強めながら、個々の成長・発達を促す療育支援や障がい児特別支援対策を講じます。

健康づくり

各種健康相談、訪問指導のさらなる充実と、各種がん検診の個別健診スタイルを拡充します。特定健診は受診率目標を70%、保健指導の実施率目標を60%として取り組みます。元気度アップ事業、健康づくりポ

イント制度は引き続き実施し、予防対策に重点的に取り組みます。心の健康づくりでは、地域福祉推進「気づき・つながり・見守り」プロジェクトを実施し、社会全体で支えあう仕組みを構築するためのモデル事業に取り組みます。

健康寿命の 延伸

新たに、口コモ（運動器症候群）予防を積極的に推進します。また、70歳以上を対象とする肺炎球菌ワクチンの任意予防接種助成を始めます。

地域医療の 確保

救急医療負担軽減改善事業に加え本年度から医師確保支援事業を創設して、積極的支援を図るとともに、今後の地域医療の確保に対する方針・方向性を検証しながらより具体的な支援に繋がります。

高齢者福祉

高齢者の豊かな経験や知識を活かす「ふれあいいきいきサロン」などの活動支援、社会参加促進の取り組みを進めます。さらに、介護予防活動を中心とした地域支援事業の拡充を図り、高齢者の主体的な健康づく

公共交通 対策

買物や通院等の利便性を図る観点から変更要望のある路線につきましては一部見直し、利用促進を図ります。

学校教育・ 施設の耐震

ふるさと「さつま町」の教育的素材を生かし、特色ある学校づくりに引き続き支援を行うとともに、中学校に続き、小学校の授業力等教職員の資質向上対策に取り組みます。学校施設の耐震化は、2校を残すのみです。求名小学校屋内運動場は本年度、宮之城中学校屋内運動場は来年度改修工事を行い耐震化率100%達成に努めます。また、児童・生徒用のトイレ洋式化への改修など既存施設の営繕等教育環境の整備に努めます。通学路の安全対策については、警察並びにスクールガードリーダーをはじめ、関係機関と連携して取り組みます。

学校再編

議会特別委員会最終報告や各PTA並びに地域の意見を参酌し、平成23年度策定した基本計画（案）を見直した新



ドクターヘリとの連携訓練の様子



健康体操の様子

たな基本計画を策定し、議会をはじめ関係地域等への説明を行いながら推進します。

相談体制の 充実

スクールカウンセラーや町単独によるスクールソーシャルワーカー等を配置し、いじめや不登校等児童生徒一人ひとりの問題行動等の解決に向けた教育に最善の努力をします。

戦略目標 3本目

ふれあいのある 生き生きとした 住みたい町

交流人口

各種イベントに積極的に参加し、観光特産品協会・イメキヤラ「さつまるちゃん」・かぐや姫・観光大使が連携したPRを行うとともに、宮之城鉄道記念館の交通・観光物産の拠点施設としての機能充実、受け入れ体制としての観光ボランティアガイドの育成・確保、町民こそつての『もてなしの心』の醸成に努めます。

交流基金 創設の検討

平成27年度に開催される「第30回国民文化祭・かごしま2015」については、「郷土芸能祭・ゆるキャラフェスタ」等の開催を計画しています。町民が外に出て交流をする「交流基金」創設についても研究、検討します。

公園・ 道路整備

北薩広域公園の「歴史ゾーン」については、山城としての虎居城が体感できる魅力ある公園の早期完成に向けて、地元要望をとりまとめ県へ要望します。また、地域高規格道路「北薩横断道路」の早期開通を目指すため「広瀬道路」から「泊野道路」間の早期事業化に向けて関係各機関との連携を図りながら、引き続き努力します。

グリーン・ ツーリズム

グリーン・ ツーリズム

「都市・農村交流」による農林業への理解及び農家所得向上を図るとともに、新幹線効果により年々増加している修学旅行生についても、町グリーン・ツーリズム研究会を中心に受け入れ体制の整備を図り、交流人口増加に努めます。

グリーン・ ツーリズム

新たな大会等を計画しながら各種の文化・スポーツ団体の合宿の受け入れ態勢の充実を図ります。

快適な住環境

防災・防犯・景観の保持のため「危険廃屋解体撤去補助金交付制度」は、引き続き取り組みます。環境基本計画に基づき町民・事業者・行政が一体となった環境施策の取り組みを推進します。

地域活性化

各区公民館で策定された「地域づくり活性化計画書」に基づく課題解決や活性化並びに地域元気再生事業の取り組みについて、地域担当職員の配置により積極的に支援します。まちづくりに対する女性の視点からの意見を町政に反映させるため引き続き「さつま町女性いきいき推進会議」を設置します。

青少年の 健全育成

「あいさつ」や「読書」運動を通じて、心豊かな子ども育成の取り組みを展開します。また、親への育児本の贈呈や図書購入費の拡充により、各図書室及び学校図書の実用を図ります。

戦略目標 4本目

財政健全化による 安定した行政 サービスの町

職員の 資質向上

新庁舎の完成、職員定数管理と併せ効率的な課・係の配置を目指す行政組織の改編を行います。また、職員が活用しやすい研修制度を整備し、積極的活用によって職員の資質向上を図ります。

庁舎建設

現在建設中の役場本庁舎は、最高の住民サービスを行う拠点施設であり、自然災害等に対する危機管理、防災拠点施設でもあります。計画的に、安全、確実な完成に努めます。

公共施設の あり方

検討委員会での今後の方向性を調査・研究していますが譲渡・廃止等の処分や指定管理者制度のあり方も含め、早い機会に具体的な見直しを進めます。

財政の健全化

ここ数年人件費・公債費においては、対前年2億円以上の縮減が図られ、合併当初の財政指標と比較しますと、実質

防災対策

地域防災計画の原子力防災対策、アナログ無線放送からデジタル無線放送への転換を行うこととなる消防無線、防災行政無線の改修など、喫緊の課題として時期を捉えながら適切に対応し、安全安心を期します。



庁舎完成予想図

風しんの任意予防接種費用を助成します!!

なぜ風しんの予防接種が必要なの?

いま、川薩地区内で風しんが流行しています。風しんは、妊婦特に妊娠初期の女性がかかると、生まれてくる赤ちゃんが耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があるなどの『先天性風しん症候群』という病気にかかってしまうおそれがあります。

風しんの予防には、ワクチンの接種が最も有効です。

さつま町では、安心して子どもを産み育てられる町づくりをめざし、定期外予防接種費用の一部について助成します。



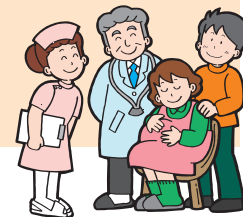
どんな人が対象なの?

緊急的予防対策 …… ①～④すべてにあてはまる方

- ① 次のいずれかにあてはまる方
 - ア. 妊娠を希望している女性で平成25年4月1日以前生まれで、接種時に50歳未満の方
 - イ. 妊婦の夫（婚姻関係は問いません 母子手帳確認）
 - ウ. 妊婦の同居家族で特に接種が必要と認められる方
- ② 平成25年4月1日から平成26年3月31日までに風しんの予防接種をした方
- ③ さつま町に住民登録している方
- ④ 風しんにかかるおそれのある方（未罹患者、抗体検査（－）の方など）

新生活支援策

- ⑤ 平成25年4月1日以降、婚姻届出をされた夫婦でさつま町に住民登録をしている方及び平成25年7月1日以降婚姻届出を行う夫婦でさつま町に住民登録をされる方



注意事項

- すでに妊娠している女性は接種できません。
- 少しでも妊娠の可能性のある女性は、医師と相談が必要です。

助成額はどれくらい?

上限6,000円（期間中1回のみ）

ただし、風しん単体抗原ワクチンまたはMRワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）に限ります。

申し込みはどうするの?

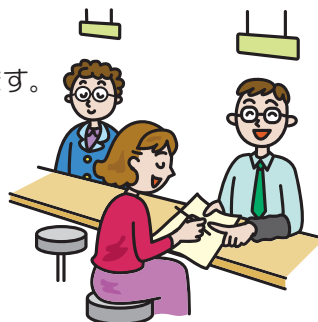
医療機関に各自電話等申込をして、接種後、役場健康増進課で手続きをお願いします。

必要なもの

- ア. 領収書（コピー不可、氏名、ワクチン名、接種日がわかるもの）
- イ. 通帳（写しで可）
- ウ. 印鑑
- エ. 母子健康手帳（妊婦の夫の予防接種のみ）

※申請期限は、緊急的予防対策が、平成26年4月14日(月)までです。新生活支援策は、婚姻届出を行ってから3か月以内です。（ただし、平成25年4月1日から平成25年6月30日までに婚姻届出をされた方は、平成25年7月1日から3か月以内）

お問い合わせ先
健康増進課 健康増進係
☎ 53-1111（内線2143・2144）



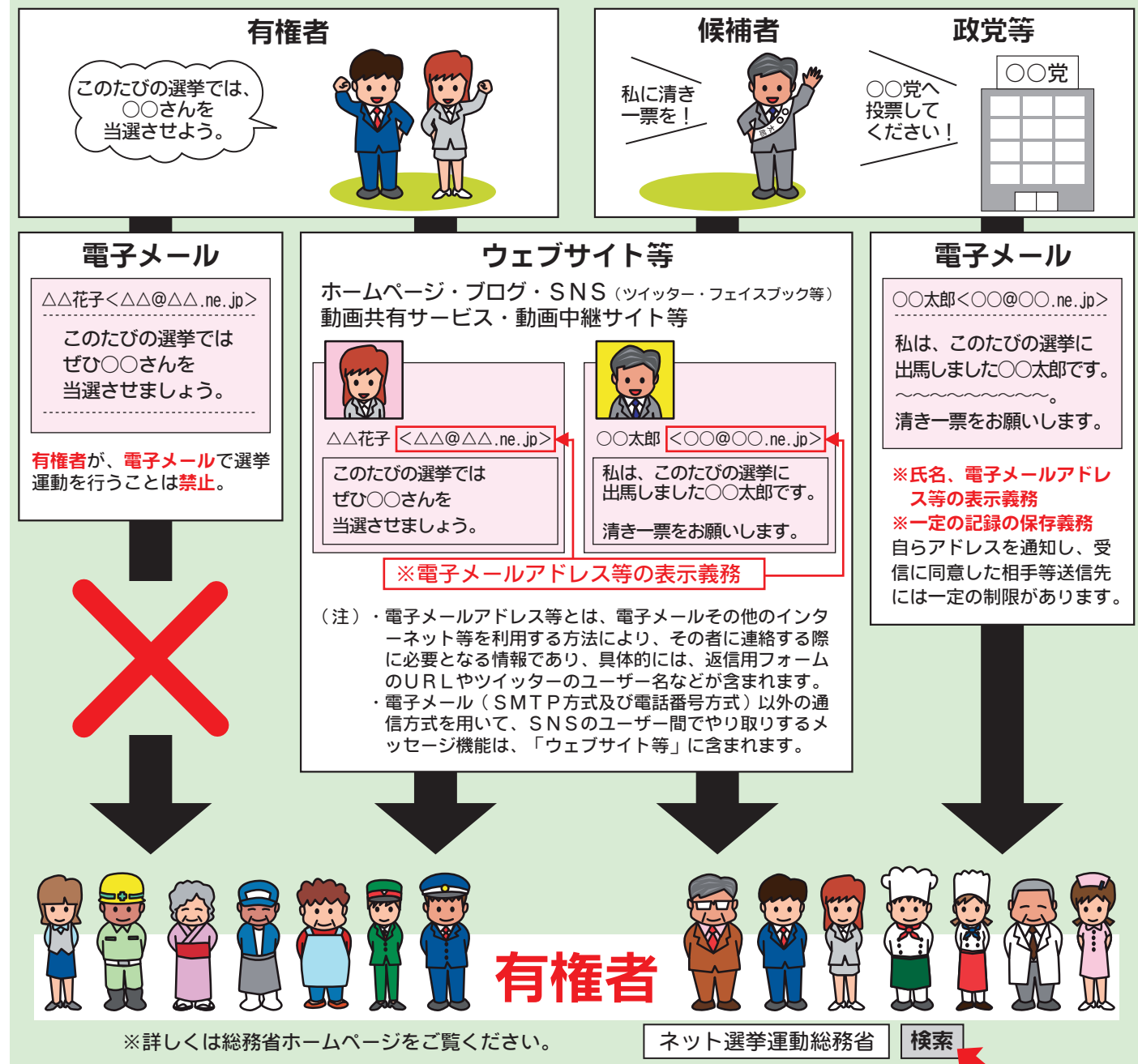
選挙運動がインターネットを使って出来るようになりました（今回の参院選挙より）

（注）公職選挙法改正法施行日（平成25年5月26日）以後初めて公示される国政選挙（衆議院議員の総選挙又は参議院議員の通常選挙）の公示日以降に、公示・告示される国政選挙及び地方選挙について適用されます。

①有権者は、ウェブサイト等（ホームページ、ブログ、ツイッターやフェイスブック等のSNS、動画共有サービス、動画中継サイト等）を利用した選挙運動が可能となりますが、電子メール（SMTP方式及び電話番号方式）を利用した選挙運動は引き続き禁止されています。

②候補者・政党等は、ウェブサイト等及び電子メールを利用した選挙運動が可能になります。

（注）・選挙運動とは、特定の選挙について、特定の候補者の当選を目的とし、投票を得又は得させるために、直接又は間接に有利な行為のことです。
・選挙運動は、公示・告示日から投票日の前日までしか行うことができません。
・未成年者等は選挙運動をすることができません。



河川敷においでよー！ 福幸祭実行委員会主催

せんで川祭りinさつま町

5月19日、県北部豪雨災害の復興を祈念して、せんで川祭りinさつま町が宮之城橋河川敷で開催されました。



▼高校生のダンスで会場が明るくなりました



◀笹田さんの人情味あふれる司会



さつままるちゃんも名越さんとちゃっかり2ショット♪

▲名越まみさんのライブ

当日はあいにくの雨模様となりましたが、MBCラジオ番組組城山スズメなどでおなじみの笹田美樹さん（さつま町出身）の司会で会場はあたたかな雰囲気になりました。紫元流五ツ太鼓や宮之城股旅舞踏会の踊り、薩摩中央高校ダンス部のステージ発表などが行われました。

午後からは雨も上がり、さつま町出身の歌手「名越まみ」さんのライブにはたくさんの方が集まり、プロの歌声に聴き入っていました。

このほかビンゴゲームや梅の種飛ばし大会、遊覧船などイベントが盛りだくさんで、町の様々な団体が協力して開催した今回の祭りは、地域おこしの第一歩となりました。

また、例年行われていた薩摩中央高校の花プランターの贈呈もあり、このイベントに華を添えました。この祭りで飾られたプランターは、現在、商店街に置いてありますので、綺麗に咲いた花を是非観賞してみてください。

一足早く運動会

柗野小学校



みんなで踊った「くきのっ子エイサー2013」

5月19日、第67回柗野区・柗野小ふるさと大運動会が開催されました。当日は雨の影響で一部の種目が体育館で行われました。

現在柗野小の児童は10人で、みんな仲良く種目に参加したり、応援をしたりと楽しんでいました。また、鹿児島国際大学の学生も参加して交流を図りました。

6年生の大野詩音くんは、「地域の方々、大学生のみなさんと協力して楽しい運動会になりました。ぼくにっしては小学校生活最後の運動会でしたが、最高の思い出ができました」と話してくれました。

川内川改修記念碑 移転完成式

昭和47年7月豪雨により建立された川内地区の川内川改修記念碑が、宮都大橋の架け替え工事により仮移転していましたが、橋の完成により、今回基礎工事などを終えて元の場所に設置されました。

5月25日、宮都大橋下流左岸側の現地で記念碑の移転完成式が行われ、主催者の川原公民会富澤公民会長、日高町長、森崎・中村川内川河川事務所両副所長、衛藤宮之城出張所長、塚田北薩地域振興局土木建築課長ほか関係者列席のもと、今後絶対に水害に見舞われないようにと願いをこめ、厳粛に執り行われました。

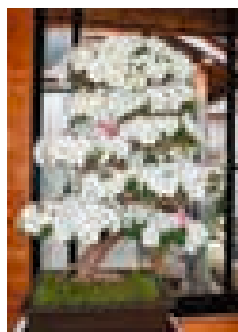


記念碑移転完成式の様子

満開のさつき

坂上さん受賞

紫尾地区の坂上宏也さんが育てたさつき（華玉）が、5月26日に鹿児島市で開催された「第25回さつき花季盆栽展示会」でNHK鹿児島放送局賞を受賞されました。



紫尾区営温泉に飾られました

『さつま牛』

4部門で6頭が1席！



最優秀賞1席に輝きました（肉用牛父系群）

5月22日、薩摩中央家畜市場で、「平成25年度川薩春季畜産共進会」が開催されました。

今回の共進会は、川薩の8地区から肉用牛81頭の出品があり、本町からは4月に3地区ごとに開催された町春季畜産共進会を勝ち抜いた34頭が出場しました。

共進会では、肉用牛改良の重点項目である体型面や飼養管理面の改善点について、熱心に審査されました。本町からの出品牛は、出品種目4部門中全てで、最優秀賞1席に輝くなど優秀な成績を収めました。個人成績は次のとおりです。

- 最優秀賞1席 敬称略
- 若雌1部 羽子田繁（ふみ号）
 - 若雌2部 徳重真生（あかり号）
 - 若雌3部 小森 悟（いろは号）
 - 肉用牛父系群 北園健二（ゆうご号）
 - 徳重真生（しもかみひさ号）
 - 徳重真生（ひめご号）

プロに学ぶ

吹奏楽セミナー



鈴木氏の話熱心に聞く参加者

5月26日、「TAD鈴木吹奏楽セミナーinさつま」が宮之城文化センターで開催されました。

今回は6回目のこのセミナーには、町内外の小・中・高等学校吹奏楽部や指導をされる先生方まで、午前午後合わせて、約600人が受講されました。

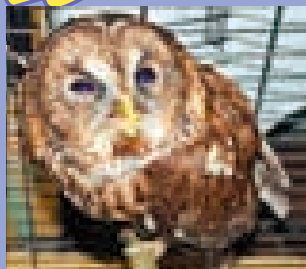
ました。

講師は、日本人初のアメリカ吹奏楽界最高峰のアメリカ吹奏楽指導者協会正会員（ABA）として、日本各地のスクールバンドの指導を精力的に行っている鈴木孝佳（通称TAD鈴木）氏にお願いしました。

午前中は、サウンドトレーニング法と楽曲練習法の講習や楽器別の初心者講習会を行い、11の楽器で89人が参加。熱心にメモを取りながら指導を受けていました。午後からは、宮之城吹奏楽団をモデルバンドに、今年度の吹奏楽コンクール課題曲のクリニックを行い、参加者からは吹き方やリズムの取り方について質問がありました。

フェンスにひっかかっていたという「ふくろう。」数日間、役場環境課で保護していましたが、元気になり森に帰っていききました。

珍客来庁



今年の一茶は、4月の寒の戻りによって生育が抑えられ、量は減収となりましたが、良質な製品が多く取引単価で昨年実績を上回りました。本町産のお茶は奥薩摩特有の霧の中で育ち深みのある味わいと新緑の香りがあることから、本町は県内でも有数の優良茶産地として知られています。贈呈されたお茶は各課に配布され、来客用として本町産茶のPRに活用します。



新茶を贈呈する茶生産協会のみなさん

町に新茶贈呈

5月27日、さつま町茶生産協会（会員数24人）の領家昭一会長ほか理事3人が役場を訪れ、25年産新茶を贈呈されました。贈呈されたお茶は、各会員が提供した一番茶本茶を仕上げたもので、町への贈呈は今年で14回目となりました。

歯を磨こう！

コンクール入賞

5月27日、薩摩郡歯科医師会管内（薩摩川内市の旧川内市を除く地区及びさつま町）の小中学生を対象とした「歯と口の健康週間」図画・ポスターコンクール審査会が行われました。

審査の結果、34校から寄せられた261点の作品の中から、盈進小学校2年の小辻優伸くんが金賞、盈進小学校3年の中園美姫さんが銀賞を受賞しました。



金



小辻 優伸くん（盈進小2年生）

銀



中園 美姫さん（盈進小3年）

地域で防災意識を高める 轟原公民会・防災訓練



降雨体験の様子

防災についてみんなで考えました

難経路に危険箇所がないか、集合場所は安全だったかなどを確認しあうなど、子どもたちも参加して地域みんなで防災について考えました。

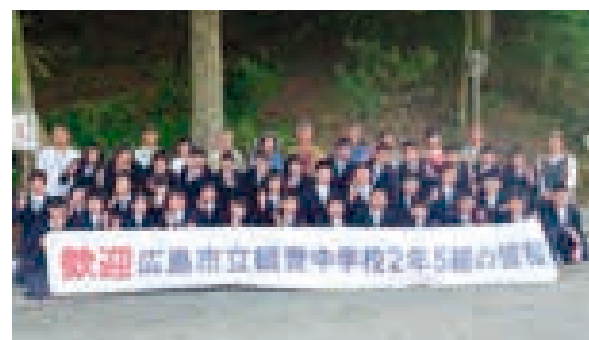
昨年度学校で水防災についての授業を受け、今回防災訓練に参加した盈進小学校6年生の若吉真帆さんは、「自分の身は自分で守ることが大切で、逃げるときは子どもの手を引いて連れて行きたい」と話しました。

田舎暮らし満喫 グリーン・ツーリズム

5月28日～30日、町グリーン・ツーリズム研究会では、今年度3回目となる修学旅行受入を行いました。

今回は、広島県広島市の観音中学校2年5組の36人の生徒の皆さんで、11軒の受入農家に3～4人ずつに分かれて宿泊しました。

宿泊期間中は天気恵まれ、生徒の皆さんは、それぞれの受入家庭で、梅ちぎり、にんにく・らっきょう収穫、さつまいも苗植えなどの農業体験やピザ作り、そば打ち、ホテル観賞、魚釣りなど、さつま



楽しい修学旅行になりました

ようこそさつまへ GG大会開催



入るかな！？

5月29日、かぐや姫グラウンドにおいて町観光特産品協会主催で開催されたグラウンド・ゴルフ大会には、さつま

☆2ブロック優勝
団体 大口中央
個人 森山マリ子（大口中央）

☆1ブロック優勝（敬称略）
団体 樋脇1組
個人 小西彰裕（樋脇1組）

町内外から550人の参加があり大いに盛り上がりました。この大会は町外からの誘客を図る目的で、昨年北薩広域公園10周年を記念して開催され、今回で2度目となります。今年はグラウンドの芝のコンディションも最高に良く、参加者のスコアも良かったようです。

認知症サポーター養成講座

5月29日、鶴田中学校一年生の総合学習「若鶴タイム」で「認知症サポーター養成講座」を開講しました。生徒は認知症についての講義を受けた後、認知症の方への正しい接し方についてグループワークを行いました。活発な意見交換が行われ、とても良い意見がたくさん出されていました。今回の養成講座では、43人の認知症サポーターが誕生しました。



グループワークの様子

さつまの

焼酎で交流

5月31日、鹿児島市中原別荘で「第3回さつま町の焼酎を飲む会並びに鹿児島市さつま会との交流会」が開催されました。

当日は、鹿児島市さつま会会員24人を含む70人が出席し、和気副町長がさつま町の近況を報告、鹿児島市さつま会の大迫副会長の挨拶があり交流会が始まりました。

交流会では、地元さつま町の三醸造元（軸屋酒造・小牧醸造・植園酒造）より、各種焼酎の紹介を行ったほか、町より「つけあげ」と「薩摩西郷梅」、商工会より「町内のお菓子」と「町内飲食店等のパンフレット」で町の宣伝を行いました。



美味しい焼酎をどうぞ

仲間と協力して

町子ども会 リーダー研修会



グループワーク（危険予知トレーニング）

6月1日～2日にかけてさつま町子ども会リーダー研修会が、県立霧島自然ふれあいセンターで開催され、町内の小・中学生48人が異年齢集団による共同生活を行いました。2日間とも雨が降り、計画されていた野外活動は野外炊飯を除く全てが変更となりました。



みんなで協力してご飯を作りました

平和の尊さを学ぶ

6月5日、山崎中学校2年生17人が校区内の戦争体験者宅を3班に分かれ訪問しました。この体験学習は戦争の悲惨さや平和について考えることを目的に平成19年から実施されています。



資料をもとに説明する野崎さん

第7回

川内川鮎まつり



ニジマス ゲット!!

6月2日、川内川漁業協同組合（代表理事組合長田渕政春さん）及び川内川をてねんする会（代表富澤満郎さん）主催により二渡水辺公園で開催されました。これは、鮎の解禁に合わせ、川内川の魚と身近にふれあうイベントで、会場は



さつまちゃんも鮎の塩焼きに挑戦

町内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。なかでも、1匹50円で販売された鮎の塩焼きコーナーでは、用意された3000匹が午後2時のイベント終了を待たずに完売するほどの盛況振りでした。このほか、かにの体験放流、ニジマスのつかみ取り、ヨーヨー釣りなどたくさんのイベントで大いに盛り上がりしました。

同地区の野崎正寛さん宅へは5人が訪れました。野崎さんは「物が無い時代だったためお腹が減っていた。戦争中は、どのようにして生きようかということばかり考えていた。昭和20年6月、学生時代に鹿児島市が空襲を受け焼け野原になり、その時の光景

は目に焼き付いていて今も忘れられない」と写真や資料を交えながら話されました。外国に行つて色々な方と話をし、友だちになつてほしいと平和を願う野崎さんの話を、生徒は真剣にまなざしで聞いていました。

みんなで学ぶ 地産地消！



糖度計をのぞきこむ児童

薩摩学校給食センターでは、6月6日に地産地消・食育の一環として、永野小学校で生産者との交流を実施しました。

この日の給食では、「北さつま農協マンゴー部会」の協力により地元産「マンゴー」が出され、部会長の祝迫直人さんがマンゴー栽培の一年間の様子や自分がマンゴー栽培を始めたきっかけ、生産の苦労や喜びなどユーモアを交えて話されました。

また、大玉のマンゴーをカットする実演では、子ども達が興味深げに周りを取り囲み、手元を見つめていました。交流給食の時間には「美味しい」「本当に甘い」などの声があふれ、日頃食する機

会の少ない高級フルーツに大満足の笑顔あふれる時間となりました。

6年生の前原亜弥香さんは「さつま町でマンゴーを作っていることなど知らないことがたくさんわかりました。初めて食べましたがとてもおいしかったです」と感想を話してくれました。



楽しい給食になりました

給食センター見学

紫尾小学校

6月13日、紫尾小学校の1・2年生12人が宮之城学校給食センターを訪れました。

施設見学後、栄養士の先生による説明があり、子どもたちは実際の調理道具等を使って問題を出されると、元気に手を挙げて答えていました。また、しゃもじの背くら

べや、先生方2人含めて14人全員が入るほどの釜の大きさで体験するなど、楽しく学んでいました。

栄養士の先生は、「一番気をつけていることは、みんながおなかをこわさないようにすること。また、できるだけ食べてもらえるようにおいしものを心を込めて作っています」と話され、その後は全員で給食を試食しました。

一年生の平蓮純君は、「クイズが面白かったです。給食は美味しかったです」と話してくれました。



給食を作っている所を見学しました



回転釜の大きさにビックリ

商工会青年部 絆感謝運動

6月11日、町商工会青年部で全国統一事業「絆感謝運動」が行われました。

当日は、部員11人が宮之城鉄道記念館周辺の清掃作業を約1時間行いました。

部長の白石誠さんは、「さつま町のことをもっと知ってもらい、地域を盛り上げていけるよう青年部でも頑張っていきたい」と今後の抱負を話されました。



こんなにたくさん集まりました



梅雨の町を彩ります(6月9日 神子地区)

特産品まつり

アミユ広場でPR

6月20日、「さつま町特産品まつり」が鹿児島市の鹿児島中央駅アミユ広場で開催されました。

当日は、JA北さつま、農産加工グループ、薩摩中央高校など町内から7団体の出店があり、薩摩西郷梅の調味梅ごぼう、トマト、農産加工品等の試食宣伝に、多くの方が足を止めて、おいしそうに試食品を頬張る姿が見られました。

会場では、日高町長をはじめ、かぐや姫やさつまちゃんも先頭に立って特産品、観光、定住促進などのPRを行い、参加者も大きな声で呼び込みをして、さつま町を丸ごと売り込みました。



町の特産品をPRできました

全国子ども会連合会表彰伝達

集落無縁で朝読み45年

6月11日、全国子ども会連合会表彰の伝達式が町長室で行われました。

表彰された栗山善太郎さんは、白男川校区浅井野集落で長年にわたり続いている子ども会の小中学生による「朝読み」を、提唱者(故)橋口政光さんの後を受け、37年間自宅を提供されています。今回その功績が評価されたもので、指導者・育成者の部で鹿児島県から選出されたのは栗山さん1名だけです。同集落には、親子2代で朝読みを経験している家庭も多く、栗山さんは「そろそろ3代目が出てくるかも。自分が携わってから半世紀は続けたい。」と話してくださいました。



表彰状を手にする栗山さん(中央)

頭を使って認知症予防 脳のすこやか塾

概ね65歳以上の元気な方を対象に、簡単な読み書き・計算の学習を行い、楽しい雰囲気の中で脳の活性化に努め、認知症や閉じこもり等を予防する介護予防教室として開講しています。

週1回30分程度学習サポーターの助言を受けながらの学習です。参加者は開催日以外でも、学習を継続し、家事や生活に関心を持って、生きがいのある生活を送れるよう努力されています。

教室に参加し、多くの人との交流・会話を楽しみませんか。見学や途中参加も歓迎しています。

- 求名交流館・鶴田中央公民館(毎週火曜日の午前9時30分から)
- 山崎地区公民館(毎週水曜日の午前9時30分から)
- 屋地楽習館・永野交流館(毎週木曜日の午前9時30分から)



脳のすこやか塾の様子

【お問い合わせ先】
介護保険課 介護予防係
(内線2171)

「西郷菊次郎と永野金山」記念誌が完成！

さつま町永野西郷菊次郎顕彰会が、西郷菊次郎金山鉱業館長就任100周年事業にあわせ、昨年8月から作成していた記念誌が今回完成しました。

西郷菊次郎(西郷隆盛の長男)は、明治政府で台湾宜蘭庁長や京都市長を務めた後、1912年に永野金山鉱業館長に就任。金山経営の傍ら永野に夜学校を開設し青少年教育に尽力しました。

広く町内外に菊次郎の遺徳と永野金山の歴史を知るきっかけにしてほしいと販売も行っています。記念誌には、金山のイラストや今年2月実施した「さつま永野金山ウォーキング大会」の写真なども掲載されています。

記念誌はA4判で66ページ。1部1,000円。
同会 ☎0996(58)0815



ホタルの舞う町

今年も大盛況でした！

町内2地区のホタル舟が、今年も多くの方の手により運航されました。暖かい気候のためか、例年より早い時期からホタルが飛んでいましたが、運航期間中は昨年より多くのホタルを見ることが出来ました。

ホタルが水害以降年々増えているのを改めて感じます。ホタル舟に乗船されたお客



様の中には県内外からのツアー客の方も多くいらつしやうて、「ホタルの町さつま町」をPRできました。

原動力はお客様の笑顔

10年目のホタル舟運航を終えた二渡からつばホタルの会会長の下麦清正さんは、「事故なく、ホタルがたくさん出て、お客さんが喜んでくれて、ほっとしています」と話されます。



二渡からつばホタルの会 会長 下麦 清正さん

さまざまな事情で「その日しか乗れない人」がいる。この標語は情報通信利用者が情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的としており、個人・団体部門合わせて全国8748点の応募の中から13点が選ばれました。

情報通信の標語受賞



受賞した中園亮さん

受賞作品
人のため
自分のためにも
ネットマナー

平成25年度の「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集において、盈進小学校

瑞宝単光章受章

危険業務従事者叙勲

虎居地区の中野昭治さんが、6月6日、役場を訪れ、日高町長に受章を報告されました。



中野さんは、航空自衛隊に36年間勤務され、戦闘機のジェットエンジンの整備を行ってこられました。今回、著しく危険性の高い業務に精励し、社会に貢献したことが認められ、受章となりました。

受章を報告する中野さん（右）

新庁舎建設事業 《現場だより》④

5月の連休明け、新庁舎建設の躯体工事は、1階の壁や梁、柱部分、さらに2階の床部分の配筋へと作業が進められました。

中でもエントランスの吹き抜け部が型枠で形成されており、ゆるやかな曲線部が目ま引きまします。

雨で予定より遅れた6月3日、先行して進められている役場東側（A工区）では、早朝から生コン車が往来し、今回の工事でも多い500mほどのコンクリート打設が行われました。

5月末までの出来高は9.72%（計画比△0.28）です。

ゆるやかな曲線を描くエントランス部分



かごしまエコファンド制度の取組状況

さつま町では、『霊峰「紫尾山」に抱かれたさつま町の森林づくりによるエコプロジェクト』として、町有林の間伐を行い、325 t 分の二酸化炭素吸収量の認証を受け、次の事業所にその一部を購入して頂きました。

株式会社 フォレストック

この販売代金につきましては、今後、物産館の室内灯や外灯、防犯灯のLED化など地球温暖化対策に活用します。なお、「かごしまエコファンド制度」は事業者等が自ら削減できない二酸化炭素排出量分を、間伐等の森林整備による削減活動に投資することによりその埋め合わせをする仕組みです。

※ 詳しくは、かごしまエコファンドのホームページ（<http://kagoshima-ecofund.jp>）か、耕地林業課林務係までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】耕地林業課 林務係 ☎53-1111（内線2432）

祝 10周年

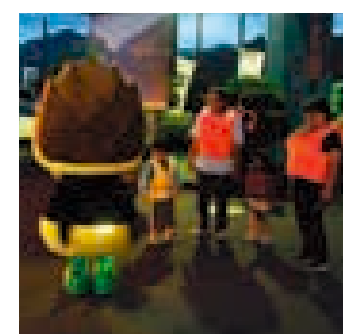
二渡ホタル舟

5月18日、記念すべき第10回目となる二渡ホタル舟のオープニングセレモニーには、和気副町長もお祝いに駆けつけ、激励の言葉を述べました。鮎の重量当てクイズやさつまちゃんとのじゃんけん大会など老若男女問わず夢中になり、会場はアットホームな雰囲気、夕暮れの川内川には鮎の美味しそうなにおいと笑い声が響きました。

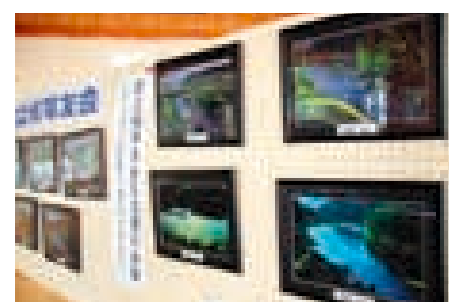
また、5月25日の「ホタル



みんなで記念撮影♪（あび〜る館）



おしりピカピカ★お客様を歓迎



6月下旬から7月中旬まで、宮之城写真会によるホタルの写真が宮之城ひまわり館で展示されています

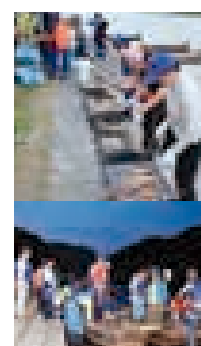
ホタルの写真展



さつまちゃんとのじゃんけん大会

を見る夕べ」には県内外から約300人が訪れました。当日はホタル舟乗船が普段の半額以下とあって、受付には長蛇の列ができました。二渡区の皆さんがカレーや焼き鳥などを販売し、こちらも大好評でした。

日が暮れてホタルの光が見え始めると、子どもたちは「いっぱいいるよ！」と歓声をあげ、「きらきら光る綺麗なホタル♪」ときらきら星の替え歌を口ずさんでいました。



スタツフのみなさん、お疲れ様でした！



巨大焼き鳥！とってもおいしそう♪

保険証の更新方法が 変わります



毎年7月に行っているさつま町国民健康保険及び後期高齢者医療の保険証の更新方法が、公民会での更新から**簡易書留郵便での発送に変更**になります。
健康増進課からの郵便物が届きましたら、確認をお願いいたします。

■対象者は

- ・さつま町国民健康保険、後期高齢者医療に加入している方。
- ・短期被保険者証、資格者証交付対象世帯の方は、役場の窓口での更新となります。対象となる方へは、別途通知いたします。

■保険証が届いたら

- ・住所・氏名・生年月日・世帯員の加入者分が揃っているかなどを確認してください。誤記・誤配がありましたら、必ず健康増進課保険係へお知らせください。

■いつ届くの？

- ・7月中旬以降、お持ちの保険証の期限が切れる7月31日に間に合うように郵送します。
- ・新しい保険証は、国民健康保険、後期高齢者医療それぞれの世帯全員分をまとめて**世帯主の住民登録住所地**へ郵送します。

■古い保険証は

- ・8月1日以降にはさみを入れるなどして破棄してください。



※新たに社会保険に加入された方は、
お早めに脱退手続きを！



■現在国民健康保険証をお持ちの方で、職場などの健康保険等に参加された方は、ご自身で国民健康保険の脱退手続きをしなければなりません。新しい保険証が発行されてしまいますので、お早めに脱退手続きをお願いします。

- 〈手続きに必要な物〉
- ・国民健康保険証
 - ・社会保険証（対象者全員分）
 - ・印鑑

国民健康保険は、みなさんの保険料で成り立っている制度です。
加入者全員で助け合っていきましょう。ご理解とご協力をお願いします。

＜お問い合わせ先＞ 健康増進課 保険係 ☎53 - 1111(内線2141)

6月子牛せり市結果 期日：6月10日(月)～11日(火) (消費税抜き、売却分) (単位：頭・円・kg)

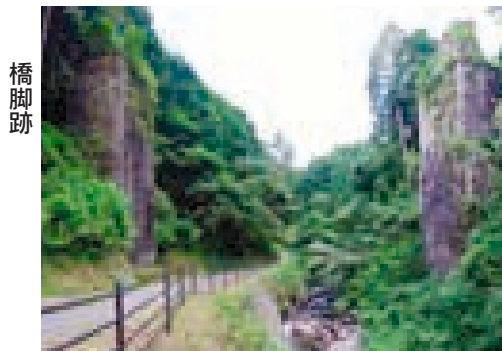
性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対5月分)
めす	254	128,138,000	890,000	504,480	286	27,528円高値
去勢	376	190,092,000	759,000	505,564	309	19,366円安値
合計	630	318,230,000	890,000	505,127	299	354円安値



よかところ再発見

まちの歴史探訪⑧

永野金山(山ヶ野金山)



寛永十七年(1640)、佐志六川流域で砂金が採れることに注目した宮之城島津家第四代島津久通により、上流域の探索が行われ、金鉱脈が発見されました。薩摩藩は幕府に採掘を願い出て、寛永十九年(1642)に採掘許可を得ると、当時の長野郷(現在の永野)、横川郷、栗野郷に及ぶ地域約12kmの範囲に柵を巡らせ、金の採掘が始まりました。このとき幕府へ「長野(永野)金山」として届け出たことから、公的には「長野(永野)金山」と呼ばれましたが、鉱脈の多くが山ヶ野側にあったことから、薩摩藩では「山ヶ野金山」と呼ばれていました。操業は順調でしたが、産金量の多さに驚いた幕府は、1年足らずで休山命令を出しました。明暦二年(1656)に採掘再開が許可されると、万治二年(1659)には江戸時代最大の約1869kgの産金量となり、一時は佐渡金山の産金量を上回るほどでした。しかし、坑道が深くなり、採掘が

困難になると、産金量は徐々に減少していき、幕末から明治・大正期にかけては、島津斉彬などが西欧の採掘法を取り入れ、近代化推進のための財政的基盤の一つとして採掘を進めました。そのような中、明治四十一年(1908)に鉱業館が山ヶ野から永野に新設されるなど、経営の主体は永野へと移っていきます。また、明治四十五年(1912)に鉱業館長に就任した西郷菊次郎は、金山経営以外にも、夜学校を創設して文武を奨励し、永野の青少年育成にも尽力されました。昭和三十三年(1958)に金山は閉山しますが、鉱業館跡地や三番滝精錬所の石垣などが現在も残っています。そして、毎年2月には、地元実行委員会主催の「永野金山ウォーキング大会」が開催され、多くの参加者が金山の歴史を体感されています。

困難になると、産金量は徐々に減少していき、幕末から明治・大正期にかけては、島津斉彬などが西欧の採掘法を取り入れ、近代化推進のための財政的基盤の一つとして採掘を進めました。そのような中、明治四十一年(1908)に鉱業館が山ヶ野から永野に新設されるなど、経営の主体は永野へと移っていきます。



鉱業館跡

MBC さつまる行く 夏まつりにちゃん

イベント名 第41回MBC夏まつり
日 7月24日(水)・25日(木)
時 午後6時30分～午後9時30分
場 所 MBCグラウンド
内 容 (鹿児島市与次郎・鹿児島県庁隣)
ライブやダンスステージなど盛りだくさん。
県内のゆるキャラも参加します。



広告

看護師さん募集!!
&
看護学校奨学金制度
あります!



働きながら資格が取れます!

薩摩郡医師会病院 ☎0996-53-0326

広告

一日体験入学 7/13(土)

対象：小学5・6年、中学3年の女子および保護者
内容：小学生…英会話、Enjoy Activity
(クッキー作り・理科実験・デコ文具)
中学生…英会話、PCを使ってオリジナルカード作り

さつま町より無料送迎(要予約)いたします

カトリック女子校 “笑顔”と“英語”にあふれる学園
大口明光学園中学校・高等学校

〒895-2511 鹿児島県伊佐市大口里1830 TEL:0995-22-0609 FAX:0995-22-0642
Eメール e_mail@okuchimeiko.ac.jp
ホームページ http://www.okuchimeiko.ac.jp

広告

石材の専門家
墓 石
納骨堂
石材彫刻



確実な信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居通
さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

健康診査日程 (7・8月分)

健康増進課 健康増進係
内線2144

乳幼児健診・健康相談

■1歳7～8か月児

(H23・11生) 健診

7月17日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■7～8か月児

(H24・11生) 育児相談

7月19日(金)

午前9時～午前9時30分

受付(宮之城保健センター)

■3歳児

(H22・5生) 健診

7月24日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■すくすく育児相談

8月2日(金)

午前9時～午前10時受付

(宮之城保健センター)

■2歳3か月児

(H23・4生) 歯科健診

8月1日(木)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■4か月児

(H25・3生) 健診

8月7日(水)

午後0時30分～午後1時
受付(宮之城保健センター)

■母子健康手帳交付

7月22日(月)

8月5日(月)

午前9時30分～午前11時

(宮之城保健センター)

※健康保険証・印鑑をお持ちください。

■フッ化物塗布

7月17日(水)

7月24日(水)

8月1日(木)

午後3時～午後4時受付

(宮之城保健センター)

■屋地楽習館健康相談

8月6日(火)

8月20日(火)

午前9時30分～午前11時

(屋地楽習館)

■「えほんの森」身長・体重測定

8月9日(金)

午前10時～午前11時30分

(えほんの森)

■HTLV-1の相談窓口

健康増進課 健康増進係
内線2143・2144

「HTLV-1ウイルス

(ヒトT細胞白血病ウイル

S1型)」とは、ヒトに感

染する病原性ウイルスの一



種で、血液中の白血球の1
つであるTリンパ球に感染
して次のような病気を発症
することがあります。

●ATL (成人T細胞性白
血病)

●HAM (HTLV-1関
連脊髄症)

●HU (HTLV-1関連
ぶどう膜炎) など

主な感染ルートは母乳に
よる母子感染と性交渉で、

鹿児島県を含む九州地方に

HTLV-1感染者が多い

といわれています。HTLV

V-1キャリア(感染者)

及び関連疾患患者の方々の

相談を次の窓口で行って

ります。

また妊婦健診の中で抗体

検査が公費で受けられます。

気軽にご相談ください。

■お問い合わせ先

健康増進課 健康増進係

内線2143・2144

■児童扶養手当

福祉課 子ども福祉係

内線2133

●対象者

○父母の離婚などにより、

父子家庭・母子家庭とな

った方

○父または母と生計をと

もにしている児童の父

母は母にかわってその

児童を養育している方

○父または母が一定の障

害の状態にある家庭の

児童(18歳以下または

20歳未満で心身に障

害のある児童)

※老齢福祉年金以外の

年金を受け取ることが

できる方などには手

当は支給されません。

該当者については、8

月が現況届の時期とな

ります。すでに受給さ

れている該当者には、

封書で通知いたします

ので、指定の期日内

に届出をお願いします。

○1月当たりの支給額

(所得制限があります。)

全部支給Ⅱ41,430円

一部支給Ⅱ9,780円

41,420円

■特別児童扶養手当

福祉課 子ども福祉係

内線2133

●対象者

○精神又は身体に障害の

ある20歳未満の児童を

する父もしくは母

○父母にかわって児童を

養育する方。

※障害を事由に公的

年金を受けることが

できる場合や児童

福祉施設に入所し

ている場合は支給

対象となります。

○1月当たりの支給額

(所得制限があります。)

1級Ⅱ50,400円

2級Ⅱ33,570円

■ひとり親家庭

医療費等助成制度

福祉課 子ども福祉係

内線2133

母子・父子家庭の親

が18歳以下の子を養

育している場合、ま

たは父母のいない

18歳以下の子に

対し、健康保険給

付の高額療養費と

付加給付を除いた自

己負担分に対して

助成を受けるには

「ひとり親家庭医療

費等助成受給資格

者」の登録を事前

にしておくことが

必要です。該当者

については、8月

が現況届の時期とな

ります。すでに受給

されている該当者

には、封書で通

知いたしますので、

指定の期日内に届

出をお願いします。

■お問い合わせ先

健康増進課 健康増進係

内線2143・2144

■お問い合わせ先

鹿児島県中央児童相談所

当・ひとり親家庭医療費)

・福祉課 子ども福祉係

(内線2133)

・鶴田支所 保健福祉係

(内線4114)

・薩摩支所 保健福祉係

(内線6122)

■お問い合わせ先

鹿児島県中央児童相談所

からのお知らせ

福祉課 子ども福祉係

内線2133

児童の療育手帳に係る

判定及び特別児童扶

養手当の診断書作成

のための診察につ

いてお知らせと願

います。

療育手帳の新規判定

及び更新については

、予約がなければ受

けることができま

せん。

また、特別児童扶養

手当の診断書作成に

係る医師の診察は

、毎月第1週から4

週の木曜日のみとな

っており、予約が必

防ごう! 花火・火遊びによる火災

火災が起こった時、真っ先に危険にさらされるのは子どもたちです。楽しいはずの花火や子どもの火遊びで「まさか」ということにならないためにも、日頃から子どもたちに火災の恐ろしさや火災予防の大切さを教え、理解させておくことが大切です。

夏休み前にもう一度、子どもたちと火の取扱い・火災の恐ろしさについて話し合うようにしましょう。

花火は楽しく安全に!

- 風の強いときは花火をしない
- 必ず大人といっしょに遊ぶ
- 水バケツを用意し、遊び終わったら水につける

火遊びはしない・させない!

- 子どもだけ残しての外出は控える
- ライター等を子どもの手の届くところに置かない
- 火遊びを見かけたら注意する

花火は広い場所で大人といっしょにね!

火災

◆発生件数 1件
内訳 林野 1件

救急

◆出動件数 84件
運んだ人 77人

◆内訳

急病	37件	33人
交通事故	9件	8人
その他	38件	36人

5月の火災・救急情報

ご自分の所有地の 樹木の枝などが道路にはみ出ていませんか？

通行の支障になっています

道路では、車両や歩行者の安全確保のために物件が入って
はならない「建築限界線」が法律で定められています。

道路に隣接する個人所有の山林や宅地の樹木から伸びた枝
葉などが、「建築限界線」を越えると法律違反になり、道路
上に張り出した枝等が原因で、通行中の車両等が損傷する事
故が発生した場合には、**樹木の所有者が賠償責任を問われる**
場合があります。

●次のような場合は樹木の伐採・剪定が必要です。

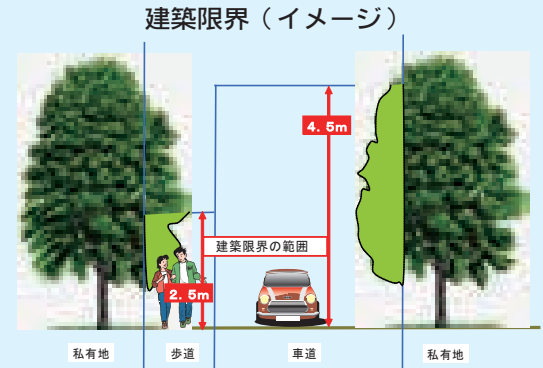
- 1 道路、歩道へ樹木が張り出している
- 2 枯れ木、折れ枝などによる通行への障害がある
(又はその恐れがある)
- 3 竹木の繁茂による通行への障害がある
(又はその恐れがある)

お問い合わせ先
【町道関係】さつま町役場 建設課 土木管理係 ☎53-1111 (内線2255)
【国・県道関係】北薩地域振興局 ☎0996 (25) 5548
担当：建設部建設総務課管理係 または 建設部土木建築課道路維持係

適正管理をお願いします

私有地から道路上に張り出している枝や葉は、
土地所有者に所有権があるため、緊急の場合以
外は町や県が勝手に切ることはできません。

**個人の管理・責任のもと、枝払い・伐採など
の処置を取られるようお願いします。**



町長交際費執行状況

(町長等が、行政執行上や町の
利益のため、町を代表し外部と
の交際上必要な経費です。)

(5月分)

- ・5月7日 5,000円
県との農業振興意見交換会時
- ・5月13日 3,000円
「黒毛和牛たけのこ丼」
お披露目会時
- ・5月13日 33,840円
立地企業役員との意見交換会時
- ・5月15日 18,000円
県大阪事務所との意見交換会時
- ・5月18日 4,000円
小中高管理職員歓迎会時
- ・5月23日 7,000円
区公民館長連絡協議会定例会時
- ・5月23日 16,500円
地元産品県外PR
- ・5月25日 4,770円
川内川改修記念碑移転完成
式・祝賀会時
- ・5月27日 8,000円
北薩地域行政懇話会(局・
3市2町)意見交換会時
- ・5月30日 5,000円
核廃絶・平和行政要請時
- ・5月30日 9,506円
九州地区水源林造林協会総会時
- ・5月31日 25,000円
鹿児島市さつま会等時地元産品PR

町長の動静 (平成25年5月)

※主な会議及び行事を抜粋
(各課・局との内部会議は省略)

31日(金)	30日(木)	29日(水)	28日(火)	27日(月)	26日(日)	25日(土)	24日(金)	23日(木)	22日(水)	21日(火)	20日(月)	19日(日)	18日(土)	17日(金)	15日(水)	14日(火)	13日(月)	12日(日)	10日(金)	8日(水)	7日(火)	2日(木)	1日(水)
議会全員協議会	さつま倫理法人会講話	さつまグラウンドゴルフ交流大会in北薩広域公園	平川区各種団体長会議	新茶贈呈式(町茶生産協会)	町防災訓練(災害対策本部招集訓練ほか)	シルバー人材センター総会	課長会(行革本部会議)	町健康づくり推進委員研修会	北薩農業共済組合総代会	川薩春季畜産共進会	職員団体交渉	終野区・終野小ふさと大運動会	百歳訪問(高下マサラ氏)	農水省鳥獣被害対策室長現地調査時面談	企業等訪問(名古屋・和歌山・三重・大阪)	片桐工作所・日特製作所・佐藤製作所・寿精密・県大阪事務所(16日まで)	第9回区公民館対抗壮年ソフトボール大会	辞令交付式(教育委員)	辞令交付式(議選監査委員)	全国水源林造林協議会連合会総会	職員朝会	北さつま農協さつま果樹部会総会	臨時議会(専決処分報告・人事案件など)
議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明	議案提出記者説明

町長コラム

日高政勝

ホテル舟

さつま町の個性豊かな代表的観光資源とも言えるホテル舟。今年も奥薩摩、二渡とも昨年を上回る乗船者数になる3,429人、旅館宿泊者数も同じく250人という人気振りです。幕を閉じています。遠くは福島、東京、愛知などからお越し頂いています。

町の活性化を図るうえで、町の魅力、特色を発信してさつま町ファンを一人でも多くつくる。そして、リピーターとして、願わくば定住に結び付くようにしていくことが大事と考えます。

事実、乗船者の声として、ホテルの群れ飛ぶ自然のイルミネーションに、これこそ「本物だ」と感動し、又、多くのボランティアの「心温まるもてなしの心」に癒され、「こんな町に住んでみたい」と発せられたと聞いています。

短い期間ですが、訪れて頂いた多くの人々の心の琴線に触れ、しっかりと様々な感動を与え、元気付ける素晴らしい資源として、関係者の頑張りに期待し、町もPRと支援に努めてまいります。

●お問い合わせ：さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

くらしの情報

国民年金のお知らせ

町民課 町民係 内線2125

免除制度を ご存じですか？

「所得が少ない」「会社を退職した」等の理由で経済的に国民年金保険料を納付することが困難な場合は、保険料免除制度が利用できます。

保険料免除の承認は本人、配偶者及び世帯主の所得により審査が行われます。

※平成24年度分(平成24年7月～平成25年6月)の免除申請受付は7月末までです。

※平成25年度分(平成25年7月～平成26年6月)の免除申請受付は7月からです。

■お問い合わせ先
川内年金事務所
☎(22) 5279

年金を受けている方が 亡くなったとき

年金を受けている方が死亡すると年金を受ける権利がなくなりますが、年金は死亡した月の分まで請求で

きます。

請求できる方は、死亡当時、年金を受けていた方と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹です。請求される方がいない場合でも年金受給者の死亡届等の手続きが必要です。

これらの届が遅れると、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますのでご注意ください。

年金を受給されていない方が亡くなった場合でも、遺族年金・寡婦年金・死亡一時金が支給される場合があります。

こんな給付も あります

①寡婦年金
第1号被保険者として保険料を納めた期間(免除期間を含む)が25年(300月)以上ある夫が亡くなった時に、10年以上継続して婚姻関係にあり、生計を維

持されていた妻(内縁関係も含む)に対して60歳から65歳になるまでの間、寡婦年金が支給されます。

年金額は、夫の第1号被保険者期間だけで計算した老齢基礎年金額の4分の3です。

②死亡一時金

第1号被保険者として保険料を納めた月数が36月上ある方が、老齢基礎年金・障害基礎年金を受けないまま亡くなった時、その方によって生計を同じくしていた遺族(①配偶者、②子、③父母、④孫、⑤祖父、⑥兄弟姉妹の中で優先順位の高い方)に死亡一時金が支給されます。

■お問い合わせ先
川内年金事務所
☎(23) 2013



さつまの日

毎月第3土曜日は
「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は
「家庭の日」

ひと夏の思い出づくりに参加してみたいかがでしょうか！

第16回水辺の楽校

さつま龍舟祭 出場チーム募集!!

【開催日時】平成25年8月25日(日)ドラゴンボートレース大会
小雨決行 荒天の場合中止
受付8:30～ 開会式9:30～ 競技開始10:00～

【開催場所】川内川神子橋付近の特設会場
【申込書】町ホームページからダウンロードできます。
【参加料】1チームあたり10,000円(ただし、小学生の部は無料)
【申込先】さつま町商工会鶴田支所 ☎0996-59-2113
【申込締切】平成25年7月31日(水)まで ※先着90チーム
【その他】前日祭として8月24日(土)に神子区ドラゴンボートレース大会が行われます。

お問い合わせ先：さつま町役場 鶴田支所 総務係
☎53-1111(内線4212)



礼儀正しく、 基本を大切に

盈進剣道スポーツ少年団は、昭和44年設立で、創立44年です。
現在、1年生1人、2年生2人、3年生3人、4年生6人、5年生2人、6年生2人の計16人と指導者の村山茂樹さん、有川武志さん、大野修太郎さん、堀晴貴さんの4人で活動しています。
監督の村山さん(55)は、平成9年から指導されています。指導のモットーは、正しく竹刀が振れるよう「基本を大切に」ですが、その前に靴をそろえる、大きな声で返事や挨拶をするなどの礼儀が最も重要だと考えていらっしやいます。

己を克(おのれをく)む心

盈進剣道スポーツ少年団の面々オルには「克己心」(自分に勝つ心)と書いてあるそうです。「人は誰でも苦しさには負けがちですが、苦しみ乗り越えて勝つことが出来た時の喜びを教えたい」と村山さんは話されます。
少年団指導の魅力について伺うと、「いい試合をして、勝った時の児童の笑顔と誇らしげな姿を見るのが好きです」と答えてくださいました。



盈進剣道スポーツ少年団

優勝を目指して

キャプテンで、盈進小学校6年の東まりあさんは、5年生から入団しています。楽しいことは、「夏のキャンプ」ですが、一番は「試合で勝つこと」だと話します。初めて勝った時はうれしさのあまり泣いてしまったというまりあさん。暑い夏に防具をつけ、寒い冬にはだして練習することはつらいですが、その分勝った時の喜びは格別です。

最後に、今後の目標について「部員が16名に増え、みんな力をつけてきているので、一戦一戦を大事に戦い、団体戦、個人戦共に優勝を目指してみんなで頑張っていきたいです」と話してくれました。



基本練習の積み重ねで、剣のさえがでけます

誕生おめでとう

5月16日〜6月15日届出分(8人) 敬称略

あかちゃん 性別 保護者 公民会	田中 千智 女 壮志郎 ホフダウシ	谷下 颯紀 女 公昭 下京塚原	石堂 結大 男 真也 轟原	豊増 煌生 男 晃正 田原	木下 開晴 男 佳祐 山崎上	増穂 康平 男 淳 下平川	久保 咲空 女 拓大 櫃ヶ迫	森山 結彩 女 賢一 五日町
------------------	-------------------	-----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	----------------	----------------

おくやみ申し上げます

5月16日〜6月15日届出分(24人) 敬称略

なくなった人 年齢 公民会等	石橋力ズエ 87 船木東	外園 薩男 79 甫立	宮路 隆子 75 時吉中城	樋之口和弘 60 吉川	永福 昭江 81 大畝町	角 幸雄 85 虎居大角	坂元 一衛 85 武白猿	祁答院渡吉 76 浦川内	平木 トミ 90 西町	原田 明尚 91 虎居町	日當瀬薩男 87 日当瀬	中園 甚七 90 大畝町
なくなった人 年齢 公民会等	湯之原フミ 82 ほたる	税所 ミチ 88 湯之元	田上 シツ 88 草田	富吉 信子 90 ほのぼの苑	高嶺 和三 67 高嶺	中園 孝雄 78 大願寺	久留須 圓 87 種子田	本村オヨシ 98 弓之尾	高嶺 正行 91 高嶺	植村 エミ 89 大俣	村田敏三郎 86 湯田原	堅山 一之 90 広橋

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

1歳で〜す

毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

つねよし あいり
恒吉愛梨ちゃん

平成24年7月1日生



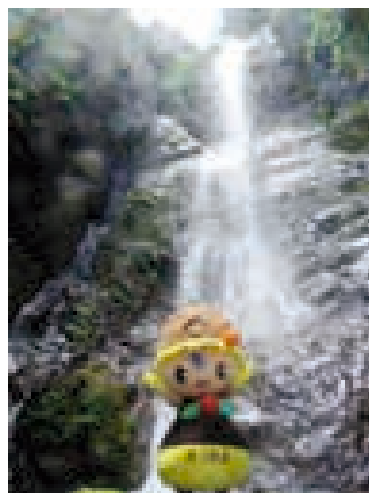
市場公民会

父 隆志さん
母 智美さん

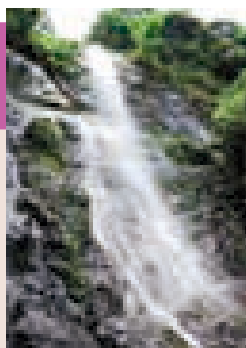
両親から一言

姉妹仲良く みんなから
愛される子に育ててね!

さつま町よかところファイル



マイナスイオンたっぷり!



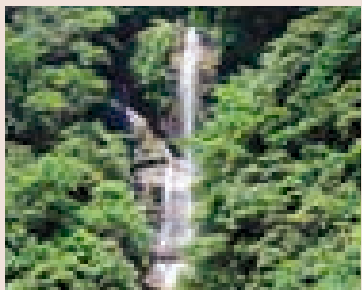
No.21

せんびるたき
千尋滝

千尋滝は、標高1067m 紫尾山の中腹にあります。紫尾山登山口(旧ふれあいの森駐車場)から山頂に向かって15分ほど歩くと目の前に落差約30mの勇壮な滝が姿を見せます。

周辺は、広葉樹林の深い緑に囲まれ幾種類もの野鳥の鳴き声が癒しをもたらしてくれるほか、滝からの水しぶきが清涼感を与えてくれます。

紫尾山は昔から霊峰として崇められており、そこにある千尋滝はまさしく「パワースポット」と呼ぶにふさわしい場所です。是非一度、足を運んでみませんか。



商工観光課 観光係
本村 毅
観光に関する仕事を
しています。

ひらまつ あやか
平松 彩佳 さん
盈進小学校6年



フルートの音色で幸せを届けたい

私の夢はフルーティストになることです。小学校1年生のころから音楽が大好きで、4年生から吹奏楽部に入り、フルートを始めました。

ある日、小さな病院でフルーティストのコンサートがあり、とても感動しました。目を閉じて聴いている人や、笑顔で楽しんでいる人がいました。私もいろいろな人をフルートの音で笑顔にしたいと思いました。人を笑顔にすることが好きだからこそやりとげてみせたいと思います。

幸せを届けられるフルーティストになりたいです。



竹紙を使用しています
(竹パルプ 10%配合)

休日在宅医

7 月

- 7日 てらだ内科クリニック ☎21-3232
- 14日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
- 15日 小緑内科 ☎52-1676
- 21日 溝口整形外科 ☎52-4668
- 28日 益奇医院 ☎57-0010

8 月

- 4日 さくらクリニック ☎53-1451
- 11日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326

休日薬局

7 月

- 7日 さし薬局 ☎21-3610
- 14日 青空薬局 ☎52-0101
- 15日 とどろ薬局 ☎52-2525
- 21日 ヘルシー薬局 ☎21-3739
- 28日 ぎんざ薬局求名店 ☎31-6500

8 月

- 4日 きりん薬局 ☎52-2033
- 11日 青空薬局 ☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による

人 口 23,119人 (- 43人)
男 10,693人 (- 29人)
女 12,426人 (- 14人)

世帯数 9,791世帯

転入 36人 転出 54人
出生 10人 死亡 35人

(平成25年6月1日現在)

() は前月対比